



十八年ぶりによせて

右京支所 今井 弘子

十八年前、秋、夕方私は大阪ミナミの戒橋へ行った。道頓堀川へファンが飛び込んで深夜まで大騒ぎした場所を見たかったからである。川の水は黄昏どきである事を差し引いても、暗く黒く濁り汚れているのが解った。こんな汚い川に飛び込む若者の勇氣に對して妙に感心したのを思い出す。そして今年、又多数の若者が飛び込んだとニュースで知り訪れた。戒橋はちよつとした観光名所と化し、「飛び込み禁止」の立看板の前で記念撮影する中年婦人



というにはほど遠いが、十八年前と比較すると真に雲泥の差であった。きれいになつてゐた。大阪府知事の「飛び込みは絶対にあかんよ」という表示と「きれいにするから飛び込んでもええよ」という内心の不一致効果を垣間見て妙に納得して、落葉にじゃれる小犬をしばらく見ている。道頓堀川はきれい



な川に変わつてゐた。十八年前の十月十六日、私は大阪梅田の陸橋にいた。陸橋の階段を上つてすぐのところ、椅子に座り足元にダンボールの手作りのスコアボードを置いてラジオを聞いているおじさんがいた。何をしている？近寄つたら、対ヤクルト戦を聞いているのである。そうか、今日、阪神の優勝が決まる日だ。私も座つて一緒にラジオを聞く事にした。一時間もすると大変な人だかりとなり、そこはまるで甲子園球場の応援席の出張所のようになつた。そして五対五で引き分けとなり二十一年ぶりの優勝が決まつた。周囲は大歓声、誰かれかまわず抱き合い握手、握手。「六甲おろし」の合唱と万歳を何度も繰り返して喜びを分かち合つた。ふ

と見ると、くだんのラジオのおじさんが泣いている。子供のように大口開けて、くしゃくしゃの顔に涙が幾筋も流れて、その涙が口に入るのもおかまいなしに泣いている。私はその涙から目を離せずじつと見ていた。今年九月十五日、夜十時三十分頃帰宅してTVのスポーツニュースで阪神の優勝を知つた。赤星君のサヨナラ打から待つ事二時間、ヤクルトが横浜に敗れて十八年ぶりのセ・リーグ優勝が決まつた瞬間を私は忘れない。グラウンドに飛び出した選手達、飛び上がり走る。その後星野監督が甲子園の夜空に舞う。一回、二回、三回……。ピールのグ



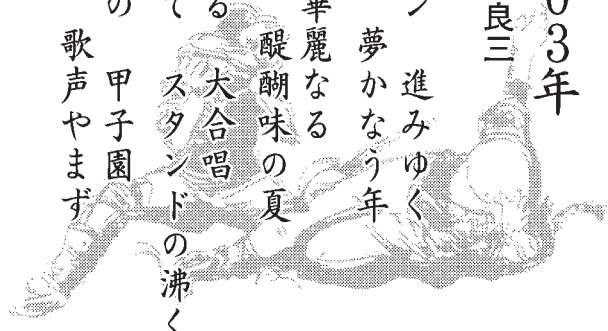
ラスを片手に遅い夕食をとりながら私は感涙した。あとからあとから涙が出て止まらなくなつてしまつた。ポロポロ、ピールをグイッ、ポロポロ、グイッの繰り返しとなつた。多分ピールの味は塩っぱかつたろうが味は覚えていない。うれしくて泣いた。私は嬉しさに泣く人間に変わつてゐた。阪神という球団は変わった。「勝ちを人に譲る」という、奥ゆかしい、つつましい、礼儀正しい特色を捨てた。一途に「勝ちたいんや」と勝ち進んだ。奥ゆかしい、つつましい、礼儀正しい球団を応援していたファンはこれからどのように変わるのであらうか。そして、次回の優勝時に私はどのように変わつてゐるか、楽しみである。

タイガース・2003年

下京支所 小田 良三

短歌

優勝へ カウントダウン 進みゆく
 ながき雌伏の 夢かなう年
 加えて走の 華麗なる
 老いも若きも 醍醐味の夏
 あと一人 黄色に揺れる 大合唱
 るつぽと化して スタンドの沸く
 我が猛虎 六甲おろしの 甲子園
 勝利に酔いて 歌声やまず



名物 上御霊神社

編集委員 有田 行雄

「京都の有名神社のそばには、おいしいお菓子が存在する」ということはもう常識かもしれません。

上京地区だけでも、上賀茂神社には「焼き餅」、北野神社には「栗餅」といった具合に参拝客のもう一つのお目当てとなっているお菓子がありますが、私が氏子になっている上御霊神社といえば「唐板（からいた）」です。

「唐板とは」と、このお菓子を紹介する前に、まず上御霊神社の紹介をしましょう。

市営地下鉄鞍馬口駅南東にある上御霊神社（本当は御霊神社です。寺町丸太町にも御霊神社があるため、区別するためこう呼んでいます。当然もう一つは下御霊神社と呼び



で、映画の「陰陽師」で、KYONと一



ます）は、私にとって、子供の頃、祖父に帰り道で蒸しパンを買って貰えるので、それに釣られて一緒に朝参りをしていたという思い出のある神社

社なのですが、その知名度については、どうなのでしょう？地元の室町小学校のホームページによると、毎年五月十七・十八日のお祭りは京都の三大祭に次ぐ規模とありますから案外有名なのかもしれません。

この神社は、無実の罪のために怨霊となった神々を祀った平安時代の御霊社の一つで、当初、平安遷都にあたり、長岡京で非業の死をとげた早良親王（さわらしんのう）。

緒に昇天した人です）の怨霊を鎮めるために、桓武天皇の勅願により造られ、のちに井上内親王、橘逸勢らの神霊を合祀し祭神八所御霊とされました。また、応仁の乱ではここに畠山政長が東陣を敷きました。静かな佇まいの古社の風格漂う神社です。

この神社の鳥居のすぐ手前にあるのが、唐板を売っている水田玉雲堂です。唐板だけを五百年以上作り続けているというこの店は、ひっそりとしていて、思わず通り過ぎてしまいがちです。そんな店舗で売られているこの「唐板」もほんとにシンプルで、小麦粉に砂糖を入れて練って焼いただけなのに、京都ならではの上品さ。「これこそが名物！」という昔風のお菓子です。華美な味ではありませんが、妙に懐かしく、お茶によく合います。一度、上御霊さんにお参りに来て、お土産に買って

鷹ヶ峯・源光庵

編集委員 田中喜雄

鷹峯山宝樹林源光庵と号し、今より六百五十年前の貞和二年（一三四六）、臨済宗大

シリーズ 第1回 京都社寺巡り

— 府下の社寺仏閣を 編集委員が訪ねます —



間口十一間半（二十一メートル）奥行七間（十三メートル）加賀の住人静家居士の建立による。本尊

また、本堂には悟りの窓と名付けられた丸窓を、迷いの窓という角窓がある。悟りの窓は円型に「禅と円通」の心を表し、角窓は人間の一生を象徴して「生老病死四苦八苦」



迷いの窓

は釈迦牟尼仏、脇立迦葉尊者阿難尊者を祀る。復古堂には開山円山禅師の木像を安置し、その下に舍利を収む。円山禅師は学徳兼備の高僧で、曹洞宗道元禅師の正伝の仏法に復古された。発願より四十二星霜の歳月を経て成就されたのである。黄檗山鉄眼禅師の大蔵経刻版、東大寺公慶上人の大仏殿建立と共に、その事業の功績は三者並び称せらる。本堂西安置の靈芝観世音は、開山禅師が天和元年（一六八一）の春、洛南補陀落山に於いて御感得の靈芝自然の観音像であり、百一十代後西天皇は殊の外尊崇篤く、宮中で御供養遊ばされたもので、世に広く信仰され、開運靈芝観世音と唱う。

境内には、宗統復古碑があり、又、道元禅師ご真筆の書画及び中山廣録・宗統復古志・鷹峰聯邦系譜等の木版を保存している。本堂内の血天井は伏見桃山城の遺物であり、慶長五年（一六〇〇）、徳川家康の忠臣鳥居彦右衛門元忠一党一八〇〇人が石田三成軍勢と交戦したが、武運拙く討死し、残る三八〇人が自刃して相果てたときの恨跡である。

曹洞宗 源光庵
京都市北区鷹峯北鷹峯町四七
〇七五―四九二―一八五八
拝観時間
午前九時～午後五時
拝観料 三〇〇円



悟りの窓



山門

シリーズ

丹波・丹後

たんぼたんぼう

編集委員 小國 泰子

皆様もよくご存知だと思いますが、京都府北部に位置する園部町〜福知山市〜大江町のエリアを丹波地方、舞鶴市〜伊根町〜久美浜町のエリアを丹後地方といい、これに兵庫県の但馬地方を加えて三たんといえます。京都府、兵庫県にまたがる自然豊かな広大なエリアです。今回両丹探訪

ということになり、丹波・丹後地方を訪ねることになりました。

「私に書けるかなあ〜…」と心配しつつ、「やるっきゃない!」と覚悟を決め、ダンナ様に車をだしてもらい、うす曇りの十月十一日の朝、久美浜町を最終目的地に、丹後半島一周道路へと出発です。国道九号線をひたすら北へ、福知山を通り過ぎて国道一七五号線に入って暫くすると、道路がY字になっています。その交差点のところに薄いピンク色の鬼の看板が見えてきました。



鬼の看板

その鬼の看板を右手に車を走らせます。朝の十時頃宇治の自宅を出てから二時間。そろそろお昼時です。左手に仙人料理の店「鬼力亭」という看板を発見。心惹かれるものを感じ、お昼はここに決定。車を降りてみると、「鬼力亭」の隣には由緒ありげな立派な



鬼力亭

建物が建っています。後で見学することにしてとりあえず「鬼力亭」へ。「鬼力亭」は、外観を鬼の茶屋にイメージしており、メニューも赤鬼そば、青鬼そば、シソ科の「えこま」と里芋を材料にした鬼ギョウザなど。どれにしようか迷うものばかりです。ちなみに私は薬膳三色そばを注文。エビの頭の唐揚げがパリッと香ばしく、鬼が握った(?)という可愛い握りずしもなかなかでした。

隣の建物へ行ってみると、ここは「あしぎぬ大雲の里」といい、最近出来た施設だとか。大雲記念館(旧平野家住宅で一九九五年に町に寄贈された)と大雲塾舎(宿泊、研修施設)、仙人料理の店「鬼力亭」でできていて、大江町がまちの資源である由良川を軸足とし、地域の活性化を図ろうとしたものだそうです。

平野家は楠正成の従臣柏原氏の末裔と伝えられ、代々舟改めとして活躍し、明治維新後は酒造業、機業を経て、二代目吉左衛門は明治三十三年に平野銀行(後に京都銀行)を設立した大企業家だったといわれています。京都銀行の前身が平野銀行で、その銀行を作ったひとの屋敷が大江町にあった。知りませんでした。

屋敷は由良川の大水害(一九〇七年)の後、高台に建築され、(由良川が眼下に眺望でき、素晴らしい)使われた資材も屋久島の千年杉や節の無い桧を使うなど贅が尽くされて京都市の有形文化財に指定されています。



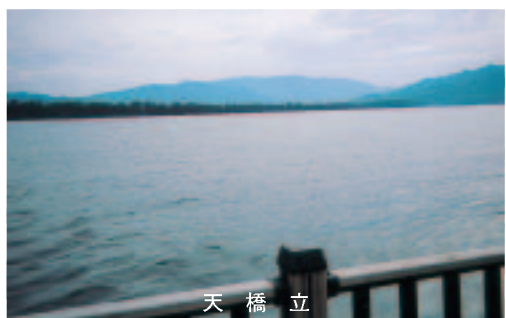
大雲記念館

お腹も満足したところで出発です。国道一七五号線から一七八線号に入り、ひたすら北へ。由良川の河口近くになると汐汲み〇〇〇という看板

が目立ち始め、道路そばに「山椒太夫屋敷跡」と書かれた大きなかんばんを発見。車から降りて写真をパチリ。



さらに国道一七八号線を北へ、右手に天橋立を見ながら(天橋立に行ったのはかなり昔だったなあーと思いつつ)、今日は時間が無いのでパス。



天橋立

伊根町では舟屋の里公園に寄りました。舟屋の里公園は

国道一七八号線から右に入り、トンネルを抜け急な坂を上ったところにあります。駐車場に入ってすぐ左手に大きなスクリーアのモニュメントがあり、その大きさに驚きます。道の駅「舟屋の里公園伊根」の前では鯖、アジ等が干してありました。さすが漁業の町ですね。



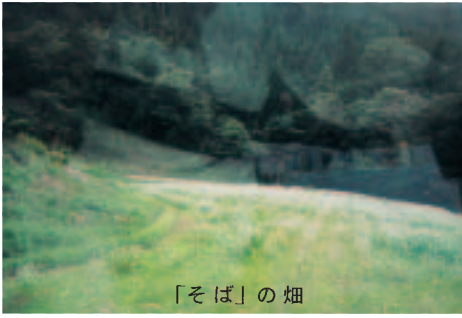
スクリーアのモニュメント

舟屋は、よくご存知のようにいわば舟のガレージ兼、物置兼、作業場兼といった優れたもので、二階は生活の場となっています。伊根湾を取り囲むように約二百三十軒建ち並んでいるそうです。その舟屋を一望できるように舟屋の里公園が小高い丘に平成五年、設立されました。公園からは穏やかな海と、伊根湾に沿って舟屋が建ち並んでいるのが一望でき、箱庭を見ている様でした。公園の中には展望台、日時計、道の駅「舟屋の里公園伊根」、お食事処等があり、少し休憩です。



伊根湾と舟屋

元気になったところで出発です。国道脇の畑には「そば」の花が真っ白に満開でとても美しく、暫くはドライブを楽しみました。



「そば」の畑

国道一七八号線を少し離れた所に浦嶋神社（延喜式神名帳には宇良神社と書かれている）があります。浦嶋神社は、あの有名な昔

話の「浦嶋太郎」ゆかりの神社です。創祀年代は淳和天皇の天長二年（八二五年）で浦嶋子を筒川大明神として祀っております。



浦嶋神社

神社の境内に入ると右手に蓬山又は蓬菜山（丹後国風土記によると竜宮城にあたる）を模した庭が造られています。浦嶋神社に伝わる浦嶋物語及び丹後国風土記などに記載されているところによると、浦嶋子（浦嶋太郎）は貧しい漁師の若者ではなく、その地の豪族日下部首等の祖先に当たり、開化天皇の後裔氏族で「姿麗しく、風流なること類なかりき」だったそうです。

また亀を助けて竜宮城に行っただけではなく、海に釣りに出かけて行って五色の亀を釣り上げたところ、その亀が美しい女性に変わり、（亀姫と名乗った）浦嶋子はその女性に誘われ蓬菜山の国（仙人の住む場所）に一緒に行ったとあ

ります。

私達の知っている浦嶋太郎の昔話とはかなり違っています。その理由としては、明治三十七年、昭和二十四年まで小学二年生の国語教材として使われていたこと、その内容も明治の児童文学者巖谷小波によって書かれた「浦嶋太郎」を基としていることのようにです。浦嶋神社といえどもっと寂れたイメージがあったのですが、こじんまりとしていて、宝物資料室もあり、神社の手前には水の江里浦嶋公園があり、浦嶋伝説にちなんだ施設がそろった新感覚のスポットとなっています。



水の江里浦嶋公園

さて、浦嶋神社を後にして経ヶ岬・丹後松島へと車を進めます。このあたりは海と山の景色を一度に堪能でき、海を見る事の少ない私には、その自然の創りあげた海岸線、海と空の雄大さに圧倒されま



丹後松島

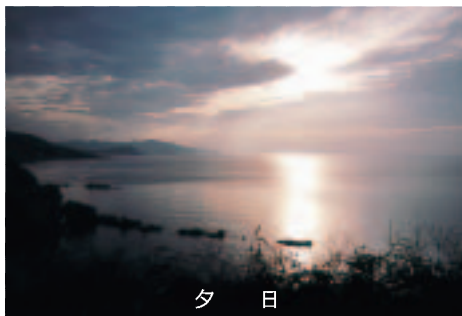
国道一七八号線を少し右にそれた所に経ヶ岬灯台の駐車場があります。灯台へはそこから十五分ほど上ったところ

です。経ヶ岬灯台は明治三十一年（一八九八年）十二月に初点灯され、航行船舶の安全のため今も一等フレネルレンズから七十七万カンデラの灯をともし続けています。また気象上重要な地点にあるため明治三十三年一月から測候所と同じ様に気象観測も行っています。昔は厳しい自然の中で灯台守の人達が灯台を守り続けていたのですが、今から十五年ほど前に無人化されました。

丹後松島は日本三景の一つである宮城県の松島に似ているところから、丹後松島と呼ばれるのですが、宮城県の松島と違っているのは全て陸続きになっていることです。国道脇にゆっくりと風景が見る

ことが出来るように、ということなのか十台ほど駐車できる駐車場があったのでそこに車を止め、しばし景色を堪能

です。私は学生の頃、間人ユースホステルで一週間ほど合宿をしたことがあります。丹後半島一周道路はそのとき初めて行ったように思います。そのユースホステルに行ってみたくなりましたので、ちょっと寄り道をすることにしました。その途中、海に夕日が沈む風景が息を呑むくらい素晴らしく、あたり一面キラキラと黄金色に輝いていました。残念ながらユースホステルは今無く、プールと体育館に変わってしまっていました。



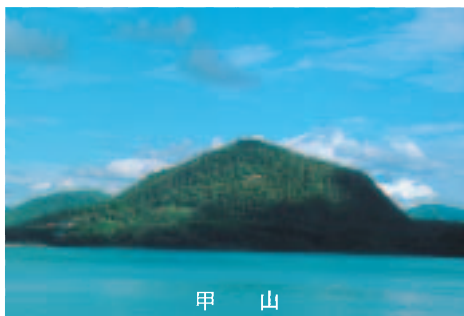
夕日

あたりが薄暗くなる頃久美浜町に到着です。

久美浜町は京都府の北西端に位置し、西と南は兵庫県に、北は日本海に接しています。日本海を断ち切るように砂嘴

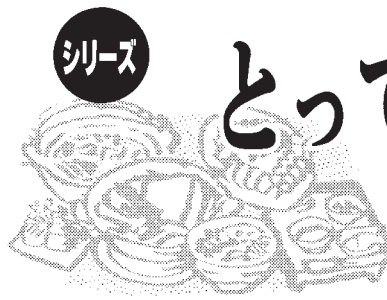
が東から西へ突き出ており、天橋立に似ているところから小天橋と呼ばれています。小天橋は約六kmにわたり白砂、青松の続く、澄んだ海が素晴らしい関西屈指のロングビーチのある海水浴場です。

お盆の大字の送り火と言え、京都五山の送り火しか知らなかったのですが、ここ久美浜町にも甲山の大字の送り火があるとか。八月九日には如意寺の本尊、十一面観音をおまつりする「千日会」があり、打ち上げ花火、甲山の大字の送り火、灯籠流し等盛大に行われるそうです。



甲山

今回、丹後半島一周道路を走ってみて、国道一七八号線沿いに見処が満載で、効率良く名所を廻る事ができ、京都市内からは少し遠いですがおすすめです。ゆっくり見られなかつた天橋立、舟屋なども一度行ってみたいですね。



とっておきのお店

ここでは組合員先生方へ
お薦めのお店をご紹介します。

「飲めない人でも お酒が欲しくなる...?」

中京支所 梶田 靖子



牛タンステーキや松茸コロッケなどは、是非一度食べていただきたい一品です。

松茸コロッケ? ?と思われる方が多いと思いますが、縦にさいた松茸を

切通しを四条から少し上がったところにある「れんげ」は、祇園という場所にありながら、肩ひじ張らないとっても気さくなお店です。

何かおいしいものをつまみながら、ちよっと一杯...というのにはまさにぴったりです。

今年の十月で三周年を迎えましたが、オープン当初から比べると、メニューも随分と充実し、又、無口な板前さんとおしゃべり好きのママとの相性もぴったりで、くつろいだ雰囲気の中で食事を楽しめます。

料理は、旬の魚や野菜を中心としたものですが、定番メニューの他、その日の仕入により、ひと工夫されたオリジナルの一品料理がおすすめです。

別に気ををてらって作られていないわけではないのですが、

しんにして、ポテトで包みこロッケにしてあるもので、松茸の香りが、中に閉じ込められて、口に入れると松茸の香りがフワッと広がるなかなかおもしろい一品です。

牛タンステーキは数に限りがあるので、ある時は必ずたのむ一品ですが、そのところけるような軟らかさと、大根おろしのタレ(ひと工夫あり!)の組合せが絶妙です。

又、お腹が落着いてゆっくりと飲みたい時には、このわた、酒盗、いかの塩辛といった珍味が特におすすめです。

こういった珍味類もすべて手作りです、このわた等は、注文があつてからひとつずつ作られるので、新鮮で本当においしいです。

祇園『れんげ』

東山区祇園四条
切り通し上る
イズミナイトビル1階
TEL 075-551-6924
営業時間PM6:00~11:00

切通し ●れんげ

四条通り

地区連絡部門一泊旅行

佐賀県 秘湯・古湯温泉

開催日16年4月18日(日)・19日(月)

多数のご参加お待ちしております



ぎてしまうかも?!
その他おまかせ料理(六千円)もたいへんお値打ちです。
板前さんの丁寧な仕事とママの気配りがとってもうれしい素敵なお店です。
一人でも、二人でも、グループでも楽しめるので、ぜひ一度のぞいてみてください!

先日久々に大江山で早朝例会を持った。
夏の朝の山の冷気に打たれながら、ふと原稿の事が過り急いで拙文に取り組んでいる。私は生れも育ちも昔の唱歌で知られる「むかし丹波の大江山鬼ども多くこもりいて...」の町である。この町の現状は、例にもれず過疎と昔美女(長寿とも言う)の町ですが、「大江山酒呑童子」の伝説の里として、また元伊勢内宮、外宮の鎮座する神話の町としても多少は知られている。酒呑童子縁の大江山麓には今では様々な施設で来客のニーズにこたえている。
ユニークな建物で世界の鬼

を集めた「鬼の交流博物館」、宿泊には現両陛下も休憩された「大江山グリーンロッジ」や「大江山鬼瓦工房館」では自然に溶け込んだ焼物創作体験の楽しみ等々さまざまに利用されている。
近くの清流には「鬼の洗濯岩」と名付けた鬼(奇)岩もある。騒音を逃れ心の洗濯と一時の安らぎを求められるのもいかがと思ふ次第です。
ちなみに福知山支所の会員さんの中には「会計の鬼」と称されている先生もおられることもご披露しておきます。
貴重な誌面を借りて隠れた吾が町のPRとなったことをお詫びし、京都税理士協同組合の一員として、新会館の建設とともに益々の発展の為に、自分なりのささやかな努力は尽くして行きたいと存念している次第です。



福知山支所 森 章

両丹地区の

つ ぶ や き

思ひのままに

全国税理士共栄会だより No. 330 (2003.10月号)

第18回全国統一キャンペーン実施中!

あたたかいご支援をお願いいたします

キャンペーン
期間
9月~11月

キャンペーン期間中は多数の提携生命保険会社営業職員が事務所を訪問すると思われまます。あたたかい対応をお願いいたします。



今年からキャンペーン期間が3ヶ月間に延長されました

キャンペーンは次の生命保険会社の協力を得て進められています
朝日生命、第一生命、日本生命、明治生命、住友生命、安田生命
富国生命、マニユライフ生命、アクサ生命、GEエジソン生命
アリコジャパン、マスマューチュアル生命、ピーシーエー生命
オリックス生命、損保ジャパンひまわり生命

関与先の安定継続を思えば
やっぱり勧めたいですね、
VIPと年金!

募集中!

ただ今、税理士VIP代理店 Z1・2 (11-6 3000) キャンペーン同時実施中
事務所の収入源を増やしませんか!

キャンペーン期間 03. 7. 1~03. 12. 31

全税共の事業はホームページでご案内しています。 <http://www.zenzeikyo.com/>